

雪
の
芸
術

Winter
Circus



2014
vol. 9

Land Arts
Made of
Snow and Ice

雪のランドアートプロジェクト

ウィンターサーカスは、 北海道の冬を楽しむアートプロジェクトです。

ウィンターサーカスは、寒くて長い北海道の冬を楽しむアートプロジェクトです。北海道の地域資源である『雪』をつかったランドアートをアーティストが発想し、地域と協働で制作します。真っ白い雪景色に、あらわれる雪のランドアート、いつもの見慣れた風景が、特別な空間へと変わります。そして、春の訪れとともに、雪が少しずつ溶けてなくなるまで、自然がつくる造形の魅力と季節の変化を楽しみます。

このアートプロジェクトは、2006年旭川市「西神楽」の雪原に、アーティストと地域による雪のランドアート「ゆきのかたまり」を制作したことからはじまりました。夜には、アーティストの提案で沖縄の波の映像を投影するとともに、地域の提案で大雪・富良野地域の夏の映像投影し、真っ暗な闇の中に現れる不思議なアート作品を一緒に楽しみました。

翌年2007年からは、上富良野町「深山峠」「見晴台公園」「白銀層」、富良野市「寒々村」の5箇所が加わり、広域でのランドアートプロジェクトを展開。さらに、2008年には、新千歳空港より大雪・富良野ルートへのアクセスする道央自動車道の砂川サービスエリアなど高速道路上の会場が加わり、企業とアーティストのコラボレーションも始まりました。2009年には美瑛町の雪遊び会場、2010年には、占冠村アルファリゾート・トマム アイスビレッジ会場が映像プログラム会場として加わりました。さらに、2011年には東神楽会場が参加しました。その後、2012年、2013年、そして、9回目を迎えた2014年も、旭川市西神楽、東神楽町ふれあい交流館、美瑛町「雪あそび会場」、上富良野町「深山峠」「見晴台公園」、占冠村「アルファリゾートトマム・アイスビレッジ」、道央自動車道「砂川サービスエリア」の全7会場アートプロジェクトを展開します。

雪のランドアート制作は、自然環境が大きく影響します。雪が多い年、少ない年、気温が高く作品が溶けてしまう年、吹雪が続く年など、毎年条件は異なりますが、今年は記録的な寒さの中での制作となりました。そして、各会場では、地域それぞれの体制・方法で

作品を制作します。アーティストの発想するカタチをうけ、地域の手で生み出される作品は、その場所を一番良く知る人々の技術と感性が加わり”地域の空間・環境に寄り添うカタチ“となります。アーティストの想いととも、地域の命が吹き込まれたランドアート作品をぜひお楽しみください。

ウィンターサーカスのもうひとつの楽しみは、完成後に、太陽や気温など環境の変化で少しずつ形を変えていく姿を観察していく自然とのコラボレーションです。

作品は、これから春まで、少しずつ溶けてカタチを変えていきます。そして、周りの景色も少しずつ春に近づいていきます。最後の雪のひとかけらが消えるまで、アートプロジェクトをお楽しみ下さい。

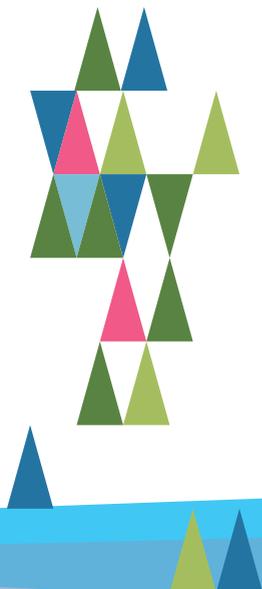
ウィンターサーカス2014実行委員会

WINTER CIRCUS

“WINTER CIRCUS” is a winter event that exhibits land arts which are designed by artists, and created by cooperative work of the artists and community members, using snow as the material.

Snowfall changes the world into white covered landscape overnight, and after snowfall, it is so quiet because snow absorbs sound. Snow-covered landscape makes us feel even warmth. Snow-made land arts that appear on a snow-covered field magically change a common landscape into a special space.

The snow arts melt and finally disappear; the process of the land art transformation from melting when the seasons change from winter to spring can also be enjoyed as art.



【 Winter Circus 2014 : 概要 】

会 期 作品公開 2014年2月15日(土)～雪が溶けてなくなるまで…。
夜間鑑賞会 2014年2月15日(土)・16日(日) 17:00～20:00

会 場 大雪・富良野ルート 会場
旭 川／西神楽会場
東 神 楽／ふれあい交流館会場
美 瑛／雪遊び会場(びえい道の駅 丘のくら前)
上富良野／深山峠会場(トリックアート美術館前)
上富良野／見晴台公園会場(観音様向かい駐車場)
占 冠／星野リゾートトマム アイスビレッジ会場
道央自動車道／砂川サービスエリア(札幌方向上り)会場

内 容 1. 雪のランドアートの制作
(雪の魅力・可能性:風景を取り込み北海道のスケール感を表現)
2. 夜間鑑賞会の開催
(冬と地域の魅力:夜間鑑賞会・雪のワークショップを実施)
3. 自然とのコラボレーション
(雪の記録:雪と季節の変化を観察)

主 催 シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート ウィンターサーカス実行委員会

共 催 東日本高速道路株式会社(NEXCO 東日本)
社団法人 北海道開発技術センター・砂川市

後 援 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部
大雪・富良野ルート運営行政連絡会議
一般社団法人 シーニックバイウェイ支援センター

協 働 旭川市・砂川市・東神楽町・美瑛町・上富良野町・占冠村・
上富良野町産豚肉販売推進協議会

公式ウェブサイト <http://www.taisetsu-furano.jp/wintercircus/>



シーニックバイウエイ (Senic Byway) とは、景観・シーン (Scene) の形容詞シーニック (Senic) とわき道・より道を意味する (Byway) を組み合わせた言葉であり、「みち」を中心に地域と行政が連携し、沿道景観の保全、地域固有の資源活用、観光客への地域情報の提供等を行う制度です。

● 大雪・富良野ルートとは？

旭川市から上富良野町、富良野市、占冠村をつなぐ国道237号を中心とした、2市6町1村 (旭川市、富良野市、東神楽町、東川町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村) で構成されたシーニックバイウエイ北海道の指定ルート (エリア) です。

シーニックバイウエイ北海道 大雪・富良野ルートは、パッチワークのような美しい丘陵田園が特徴的で、ラベンダーなどの花々に彩られた地域として、映画やドラマ、CMの舞台となっています。

また、じゃがいもや麦などの良質な農産物にも恵まれ、十勝岳温泉や吹上露天の湯など、温泉資源も豊富で、ゆったりとした時の流れの中で心癒される空間を有したルートです。

シーニックバイウエイ北海道 大雪・富良野ルートの活動団体は、19団体にのぼり、花をはじめとした様々な観点からの景観づくりや、体験観光・情報発信のためのホームページの運営、高齢者や障害者のための情報整備など、多彩な活動を行っています。



【作品概要】

List or Artists

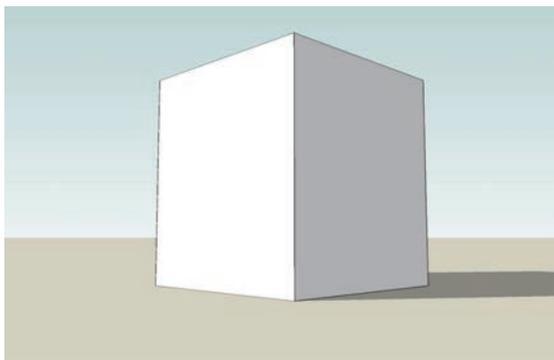


安藤 英樹
Hideki Ando

旭川 西神楽 ～ 西神楽会場 ～

▼ 会場・制作協力

NPO 法人グラウンドワーク西神楽
農業生産法人 有限会社西神楽夢民村
有限会社 成澤工業
歌原戸田建設株式会社
西神楽エコ農村共生対流推進協議会
丸善建設株式会社
西神楽まちづくり委員会



#01

The Peak

そうだ、僕らはあの高みをめざそう。

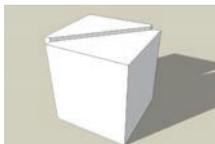
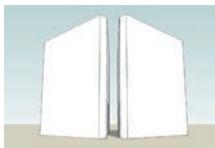
旭川に住む僕らは、そして旭川を訪れた人々はみんな、
ときに、幸運にも晴天に恵まれると、先住民たちが
「神々が遊ぶ庭」と呼んだ、

あの大雪山連峰の姿を望むことができる。

冬の朝には、旭を背に、頂の雪を白くたなびかせ、
雄々しく悠然と佇む孤高の姿に心を奪われる。

夏の夕暮れには、優美な紫のグラデーションに包まれ、
畑仕事やドライブ中の人でも、思わずその姿に見惚れてしまう。
僕らはこの街のどこにいても、たとえその姿が見えなくても、
あの「山」の存在を意識している。

反対に、僕らがこの街のどこにいても、「山」は
僕らのことを見ている。



The Peak

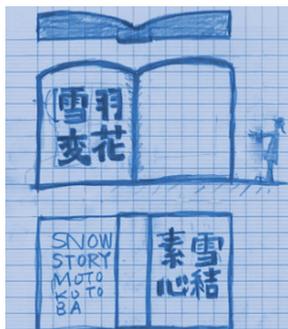
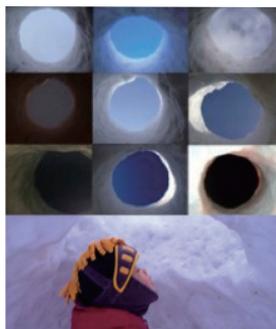
Hideki Ando Location:Nishikagura, Asahikawa



星 素子(言葉アーティスト)
Motoko Hoshi

東神楽 ~ ふれあい交流館会場 ~

▼ 会場・制作協力
雪あかり実行委員会
東神楽町
東神楽町観光協会
東聖地区・中央地区公民館
東神楽消費者協会
ひじり野地域活性化実行委員会
高橋建設株式会社
西山電設株式会社



2014年

inter
circus
#02

[素ことば] ストーリー in 東神楽

— 漢字を、感じて。あなたの物語に。雪の参加型ランドアート —

言葉アート「素ことば」(コンセプチュアルアート/視覚4字詩)は、縦・横・斜め…自由に漢字を感じる言葉のアート。2013年は美瑛で空をみる装置「空は穴かんむり」インスタレーションのほかワークショップ、型をもちいた雪遊びなど、地域の人たちとの交流や地域の漢字収集をベースに制作滞在を行い『美瑛の素ことば』をつくり作品に映像を投影しました。そして2014年「東神楽」で第2章がはじまります。今回は「本」がモチーフ。東神楽の漢字収集や雪をつかった参加型の文字制作などコミュニケーションを通して『東神楽の素ことば』を紡ぎだし、参加者のみなさんと新たなページ(物語)をつくりたいと思います。

Snow Stories: Kanji Poesy MOTOKOTOBA

Motoko Hoshi Location:Higashikagura



夜の鑑賞会(2013年)

【参加メニュー】

●「東神楽とあなたをあrawす漢字」を折紙に書いて収集箱に入れてみよう。●「素ことばワークショップ」に参加してみよう。●夜の鑑賞会で雪の作品に『東神楽の素ことば』や集まった漢字の映像を映します。

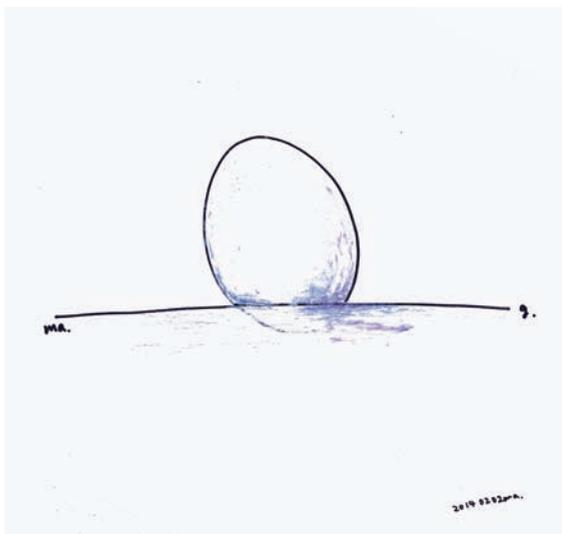
美瑛 ～雪あそび会場～

▼ 会場・制作協力
びえい雪あそび実行委員会



富田 真未
Mami Tomita

#03



YUKI - TAMA - GO

こんにちは。雪の球です。
二年前に同じ場所でお会いしました。
また ここにきました。どうもありがとう。

戻ってくる時に、少し、着陸を失敗して、
どすん、と埋まっちゃいました。

いつもない場所に忽然と現れる
雪のかたまり。
どこからが地で
どこからが作った形なのかわからない のが 雪。
そこがいい。
でも ここに在るのは
空からの雪が 人間の手を借りて
くっついてくっついて
できた幸せな形です。
なんでこの形なんでしょうね。

雪の形は日々刻々と形を変えます。
想像できない形を その地の環境に順応して 作り出してくれます。
雪のできる形は限りなく、雪の魅力も限りなく、
でも 雪に触れられるときは
そんなに多くありません。
特別なひとときと思えば、今が特別です。
今を楽しく。今を遊ぶ。

YUKI-TAMA-GO の広場は
Happy×Party! です。 きっと。





工藤 みゆき
Miyuki Kudo

上富良野 ~ 深山峠 ~

▼ 会場・制作協力
株式会社 アラタビル
株式会社 アラタ工業



#04



ぽん ぽん ぽん

雪山から、ぽん。雪原から、ぽん。

まあい膨らみがぽん、ぽん、ぽん。

じっと見ていると、いろいろなおしりに見えてくる。

大きかったり、小さかったり、

時には大小連なって、ぽん、ぽん、ぽん。

雪の中に、慌てて隠れたようで、なんだかおもしろい。

Pon Pon Pon

Miyuki Kudo Location: Miyamatouge, Kami Furano



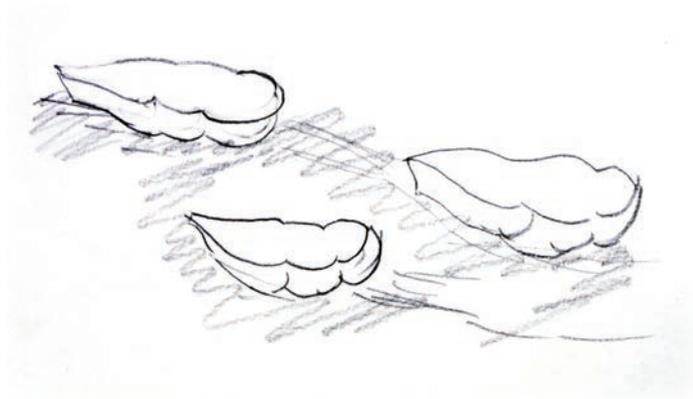
長澤 裕子(彫刻家)
Yuko Nagasawa

上富良野 ～ 見晴台公園 ～

▼ 会場・制作協力
上富良野町商工会青年部・商業部会
237 花俱樂部
上富良野町役場

雲にのって

空にぽっかりと浮かぶ雲。
一つ一つの雲は形を変え、ゆっくりと、時には速く動いてゆく。
動いているのか止まっているのかさえ感じられない時もある。
雪を降らせ、雨を降らせ、日陰を作る雲。
そんな雲の上ののってみたら何が見えるんだろう。
そんなことを想像しながら。



Riding on the Clouds

Yuko Nagasawa Location: Miharashidaikoen, Kami Furano

星野リゾート トمام

～ アイスビレッジ会場 ～

▼ 会場・制作協力
星野リゾート トمام



雷田 哲司 (Diretor/Visual)
Tetsushi Tomita
<http://tetsushitomita.com/>

佐々木 恒平 (Sound)
Kohei Sasaki (not/c)
<http://koheisasaki.net>

#06



Love is best

モチーフは日常的なレースペーパー等を使っています。
何気ないささいなものごとが見出される瞬間にアートが生まれます。

明確にアートたるものが世界にあるのではなく
おそらく全てのものごとがアートになりうる可能性を秘めています。



Love is best

Tetsushi Tomita Director/Visual
Kohei Sasaki (not/c) Sound

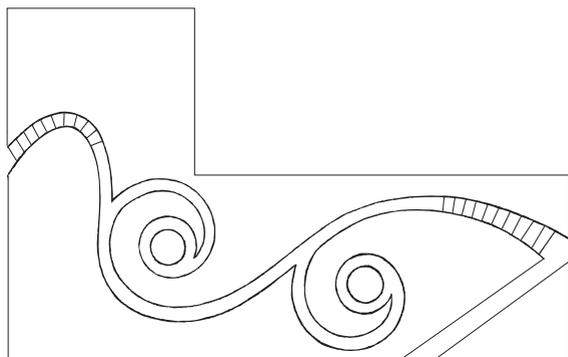
Location: Hoshino Resort TOMAMU, Shimukappu



熊澤 桂子(ガラス造形作家)
Keiko Kumazawa

道央自動車道 ～ 砂川サービスエリア ～

▼会場・制作協力
東日本高速道路株式会社 北海道支社 旭川管理事務所
砂川市



けものみちをキープするプロジェクト

砂川SAに立ち寄った人々が私のデザインした『けものみち』の上をひたすら歩くことによって、そのラインの雪にだけ重力が加わります。その結果、雪が溶ける速度に変化が表れるのではないかと、という実験的プロジェクトです。

今回はあえて雪を使って何かを作るのではなく、人々の動線をデザインし、その歩みによって作品が作られていく仕組みになっています。

是非、歩いてみてください。

Animal Trails

Keiko Kumazawa Location: Hokkaido Express Highway, Sunagawa



【雪のワークショップの概要】

WORK
SHOP

冬を楽しむアートプロジェクト“ウィンターサーカス”（ランドアート制作）とあわせ、北海道の地域資源である雪をテーマとした“学び”と“アート”を実践するワークショップを開催しています。

● 上富良野町教育委員会／1月14日（月）上富良野町放課後クラブ児童

プログラム1 「雪」の授業

■ 講師／大川戸 貴浩（一般社団法人 北海道開発技術センター）



スノータワー競争



雪の結晶観察



人工雪実験



氷つり

プログラム2 アートワーク ● オリジナルスノードームをつくらう



● 旭川聖和小学校／1月31日(木) 1年生から6年生

プログラム 1

「雪」の授業

■ 講師／渡邊 祥史(札幌総合情報センター株式会社)

- 準備運動
- 雪つり 毛糸を使って雪玉を釣ってみよう



プログラム 2

アートワーク ● オリジナルスノードームをつくろう





ウインターサーカス 2014 に
ご来場いただき誠にありがとうございます。

雪のランドアートは、朝・昼・夕・夜と
それぞれの時間で異なった表情が楽しめます。
ぜひ、また遊びにいらして下さい。

<http://www.taisetsu-furano.jp/wintercircus/>